



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

2022年5月23日朝刊東部版



日米双方から見た開国劇に

下田市最大のイベント「第83回黒船祭」は最終日の22日、日米和親条約の細則を取り決めた下田条約調印の再現劇上演などを実施し、国際色豊かな日米親善イベントを締めくくった。市民文化会館での再現劇には都内の劇団の俳優らが出演し、ペリー提督らを演じた。条約締結までの西国

下田・黒船祭閉幕

の外交交渉を再現するとともに、締結後の日米交流の様子も表現。米国人の「ハウマツチ？」（いくら？）を日本人が魚の「ハマチ」と勘違いした場面などをひょうきんな寸劇に仕立て、聴衆を楽しませた。恒例行事の再現劇はこれまで「日本から見た開国」をテーマに行ってきたが、今回は同条約が締結された了仙寺の松井大宗副住職（30）が台本を再考した。松井副住職は「日本だけでなく、『日米両者から見た開国』をテーマとした。広く知られてこなかった歴史に焦点を当てたかった」と意図を語った。最終日は海上自衛隊横須賀音楽隊や米海軍第7艦隊音楽隊、市民らによるコンサートやパレードも実施。3年ぶりの黒船祭が終幕した。下田条約締結の前後を表現した再現劇＝下田市民文化会館

①下田市最大のイベントである黒船祭の最終日に行われてきた恒例行事とは、何か。次の語句を必ず使って説明しなさい。 < 再現劇 >

②日米和親条約締結後の1856年に、初代の駐日総領事として下田に着任した人物とは、誰か。

③幕末の静岡における外国との交流の歴史を未来に伝えようとしている活動の例を、自分で調べて説明しなさい。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 伊藤大介（静岡聖光学院中学・高校 教諭）

（中学校～高校／社会、総合）

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2022年5月23日朝刊東部版



下田市最大のイベント「第83回黒船祭」は最終日の22日、日米和親条約の細則を取り決めた下田条約調印の再現劇上演などを実施し、国際色豊かな日米親善イベントを締めくくった。市民文化会館での再現劇には都内の劇団の俳優らが出演し、ペリー提督らを演じた。条約締結までの西国

日米双方から見た開国劇に

下田・黒船祭閉幕

の外交交渉を再現するともに、締結後の日米交流の様子も表現。米国人の「ハウマツチ？」（いくら？）を日本人が魚の「ハマチ」と勘違いした場面などをひょうきんな寸劇に仕立て、聴衆を楽しませた。恒例行事の再現劇はこれまで「日本から見た開国」をテーマに行ってきたが、今回は同条約が締結された了仙寺の松井大宗副住職（30）が台本を再考した。松井副住職は「日本だけでなく、『日米両者から見た開国』をテーマとした。広く知られてこなかった歴史に焦点を当てたかった」と意図を語った。

最終日は海上自衛隊横須賀音楽隊や米海軍第7艦隊音楽隊、市民らによるコンサートやパレードも実施。3年ぶりの黒船祭が終幕した。

下田条約締結の前後を表現した再現劇＝下田市民文化会館

①下田市最大のイベントである黒船祭の最終日に行われてきた恒例行事とは、何か。次の語句を必ず使って説明しなさい。＜再現劇＞

（例）日米和親条約の細則を取り決めた下田条約調印の再現劇を上演すること。

②日米和親条約締結後の1856年に、初代の駐日総領事として下田に着任した人物とは、誰か。

（ ハリス ）

③幕末の静岡における外国との交流の歴史を未来に伝えようとしている活動の例を、自分で調べて説明しなさい。

（例）江戸末期にプチャーチン率いるロシア船ディアナ号が富士市宮島沖で沈没した時に、船の乗組員を地元の漁民が救助し、以後ロシアとの交流が深まっていった史実を、富士市日ロ友好協会が文化庁の「日本遺産」に登録できるように関係者に働きかけていること。（※2022年5月24日付静岡新聞18面の記事より）

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 伊藤大介（静岡聖光学院中学・高校 教諭）

（中学校～高校／社会、総合）